

つちはし やすこ
土橋 靖子 筆 「^{しんしゅそうおう}心手相応」

心手相応（しんしゅそうおう）」とは「南史・蕭子雲伝」にある文言で、心と手とが互いによく相応すること。すなわち、心のままに手（筆）が動く、運筆の理想的な状態を表しています。書において、心と体が一体となって初めて「技」となり優れた作品となるという意味ですが、医においてもこの真理は通ずるのではないのでしょうか。学生諸君には技術と学問の基礎を作るだけでなく、人としての心を研鑽することも忘れないで欲しいという、筆者の想いがこの書には込められているのです。